

(例)

(様式4－3)

(用紙A4)

施工上配慮すべき事項（技術提案）

本工事の特性を踏まえ施工上配慮すべき重要と判断する事項について1課題選定し、その施工計画を記述すること。

(工事名：〇〇工事)

会社名：_____

■施工上の配慮事項 (技術提案)	〇〇〇について（参加申込者で記入する。）
---------------------	----------------------

項 目	具 体 的 な 施 工 計 画																						
配慮事項の設定理由 (技術提案)	・参加申込者で記入する。																						
配慮する内容等につ いて（技術提案）	・参加申込者で記入する。 ※記載は最大5項目までとし、6項目以上は評価の対象としない。 なお、1つの項目には、1つの具体的提案内容を記載するものとし、1つの項目の中に複数の提案内容を記載した場合はその項目は評価しないものとする。 また、資料はA4版2枚（2ページ）以内にまとめるものとし、3枚（3ページ）以上の場合は、3枚（3ページ）目以降は評価しない。 ※記載内容の説明の補足として図面等を添付しても良いが、A4版1枚以内（文字の大きさは10.5ポイント以上）とする。 （評価例） <table><tr><td>1. 〇〇〇〇〇〇について</td><td>←評価の対象とする。</td></tr><tr><td>・ 〇〇〇〇〇〇〇〇〇を行う。</td><td></td></tr><tr><td>2. 〇〇〇〇〇〇について</td><td>←複数提案（2提案）のため評価しない。</td></tr><tr><td>・ (〇〇減水剤)を使用し、 (〇〇特殊型枠)を採用する。</td><td></td></tr><tr><td>3. 〇〇〇〇〇〇について</td><td>←複数提案（3提案）のため評価しない。</td></tr><tr><td>・ 〇〇〇〇〇〇〇〇〇を行う。</td><td></td></tr><tr><td>・ 〇〇〇〇〇〇〇〇〇を行う。</td><td></td></tr><tr><td>・ 〇〇〇〇〇〇〇〇〇を行う。</td><td></td></tr><tr><td>.....</td><td></td></tr><tr><td>6. 〇〇〇〇〇〇について</td><td>←提案超過（6項目）により評価しない。</td></tr><tr><td>・ 〇〇〇〇〇〇〇〇〇を行う。</td><td></td></tr></table>	1. 〇〇〇〇〇〇について	←評価の対象とする。	・ 〇〇〇〇〇〇〇〇〇を行う。		2. 〇〇〇〇〇〇について	←複数提案（2提案）のため評価しない。	・ (〇〇減水剤)を使用し、 (〇〇特殊型枠)を採用する。		3. 〇〇〇〇〇〇について	←複数提案（3提案）のため評価しない。	・ 〇〇〇〇〇〇〇〇〇を行う。		・ 〇〇〇〇〇〇〇〇〇を行う。		・ 〇〇〇〇〇〇〇〇〇を行う。				6. 〇〇〇〇〇〇について	←提案超過（6項目）により評価しない。	・ 〇〇〇〇〇〇〇〇〇を行う。	
1. 〇〇〇〇〇〇について	←評価の対象とする。																						
・ 〇〇〇〇〇〇〇〇〇を行う。																							
2. 〇〇〇〇〇〇について	←複数提案（2提案）のため評価しない。																						
・ (〇〇減水剤)を使用し、 (〇〇特殊型枠)を採用する。																							
3. 〇〇〇〇〇〇について	←複数提案（3提案）のため評価しない。																						
・ 〇〇〇〇〇〇〇〇〇を行う。																							
・ 〇〇〇〇〇〇〇〇〇を行う。																							
・ 〇〇〇〇〇〇〇〇〇を行う。																							
.....																							
6. 〇〇〇〇〇〇について	←提案超過（6項目）により評価しない。																						
・ 〇〇〇〇〇〇〇〇〇を行う。																							

(例)

(用紙A4)

(様式4-4)

〇〇〇に係わる技術的所見（技術提案）

(工事名：〇〇工事)

会社名：_____

■対象 (技術提案)	〇〇〇の品質向上対策について	
課題の概要 (技術提案)	〇〇〇の品質向上対策が課題である。	
項目	具体的な品質管理方法	概算金額
〇〇〇の品質確保について (技術提案)	・参加申込者で記入する。 ※記載は最大5項目までとし、6項目以上は評価の対象としない。 なお、1つの項目には、1つの具体的提案内容を記載するものとし、1つの項目の中に複数の提案内容を記載した場合はその項目は評価しないものとする。 また、資料はA4版2枚(2ページ)以内にまとめるものとし、3枚(3ページ)以上の場合は、3枚(3ページ)目以降は評価しない。 ※記載内容の説明の補足として図面等を添付しても良いが、A4版1枚以内(文字の大きさは10.5ポイント以上)とする。 (評価例) 1. 〇〇について ←評価の対象とする。 ・〇〇〇を行う。 2. 〇〇について ←複数提案(2提案)のため ・(〇コンクリート)を使用し、評価しない。 (合せて〇減水剤)を採用する。 3. 〇〇について ←複数提案(3提案)のため ・〇〇〇を行う。 ・〇〇〇を行う。 ・〇〇〇を行う。 6. 〇〇について ←提案超過(6項目)により ・〇〇〇〇〇を行う。 評価しない。	※提案項目毎に標準施工との比較における差額を記入すること。 (単位：万円)

注)

1) 技術ダンピングの防止

- ・提案は、目的と実施内容が的確であるものを評価するが、的確な提案であっても、過度なコスト負担を要すると判断される場合は、過度なコスト負担を要しない提案より優位な評価とはしない。

2) 受注者の責任において対応可能な事項について記載するものとし、他機関等との協議対象事項については評価の対象としない。

3) 一般的内容の記載については評価の対象としない。

(土木工事共通仕様書・土木請負工事必携・土木工事施工管理の手引き等に順ずるもの)

南部国道事務所における総合評価落札方式提出された技術提案の評価の考え方について

【技術提案の採点と評価方法】

(1) 採点と評価のポイント

- ① 共通仕様書、施工管理の手引き等により当然実施すべき提案は評価しない。
- ② 提案はできる限り具体的で定量的であること。

(2) 採点方法

- 1) 創意工夫又は新技術等を活用する等により請負金額に対して過度なコスト負担とならない以下の提案等の採点は「2点」とする。
 - ・ 品質の向上が図られ目的物の長寿命化等に資する提案
 - ・ 工期の短縮が図られる提案
 - ・ 一般住民等の安全又は環境対策が従来工法以上に確保又は改善される提案
 - ・ コスト縮減が図られる提案

- 2) 過度なコスト負担を要すると判断される場合は、過度なコスト負担を要しない提案より優位な評価とはしない。これにより、過度なコスト負担を要すると判断される提案の採点は「1点」とする。

◇ 過度なコスト負担を要する提案の事例

- ① 品質の向上、長寿命化の技術提案において、本来発注者が設計変更により見込むべき以下の提案等

- ・ 必要なボーリング調査、補助工法、試験杭等の実施
- ・ 必要な養生材、混和剤の使用
- ・ 必要な住民対策として実施する工事用道路の舗装
- ・ 必要な交通整理員の配置

- ② 工事の目的に照らし過度なグレードアップに関する以下の提案等

- ・ グレードアップによる過度な効率化、省力化を目的とした提案
- ・ 試験、検査、確認等の割り増し、追加、管理基準の強化の提案
- ・ 機種、機械のグレードアップにより周辺環境対策等に対して必要以上の対策効果の提案

- 3) 技術提案とは認められない以下の提案等の採点は「0点」とする。

- ・ 一般的で通常の範囲内の提案
- ・ 発注者が指定した課題以外の提案
- ・ 他機関等と協議を必要とする提案
- ・ 法令違反等実施してはならない提案